

第3学年 外国語科（英語）学習指導案

日 時：平成29年2月8日（水）第5限目

場 所：多目的室

授業者：小松原 智恵

1. 単元名 Presentation3（*NEW HORIZON English Course 3*）

2. 単元の目標

- ・Unit 6 までに学んだ表現を使って、まとまりのある文章を書き発信する。

【外国語表現の能力】

- ・辞書を使ったり、パンフレットや友だちの表現を参考にしたりしながら積極的に文章を書く。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・観光地や身近な場所の英語版のパンフレットを読み、紹介や説明に必要で、よく使われる表現を理解する。

【言語や文化についての知識・理解】

3. 学習の基盤

（1）教材観

本単元は、これまでに学習してきた英語を使って英語の4技能全て（書く、話す、聞く、読む）を応用する単元である。本年度からの新しい教科書では、Presentationの単元が3回導入されており、それまでの既習表現を活用して学期末に自己表現活動を行うことをねらいとしている。今回は、教科書の全てのユニットの学習を終えており、さまざまなテーマを設定してそれらについて自分の考えや思いを書いて表現する活動を多く取り入れたいと考え、3年生のふるさとである弥栄をテーマに選んだ。3年間の中学校生活を終えて弥栄町外へ出ていく3年生にとっては、ふるさと弥栄の温かい風土やすばらしさを再確認できると考えたからである。2年生の時に、生徒たちはMulti plus 2（町紹介）の単元でThere is / There areを使って弥栄町には何があるかを説明したり、I think, 接続詞becauseを使って自分の考えやその理由を伝えたりした。そこで今回は2年生の時に書いた文をもとに、英語のパンフレットを参考にして「町紹介」の文を改めて練り直すことを目標にする。身近な場所の英語版パンフレットの中には自分たちが学習してきた英語表現がたくさん使われているので、まず英語を読んで理解することの楽しさを味わわせたい。また、英語のパンフレットは多くの人目に触れて、人を呼び込みたいという意図をもって作られている。人の心をつかむためにどのような工夫がなされているか注目させたい。

（2）生徒について

本学級は11名の学級である。生徒はこれまでも国語や社会、総合的な学習の時間など、他の教科の学習でも図書館の資料を使って調べ学習をし、レポートにまとめ、プレゼンテーションをする活動をしてきた。その積み重ねのおかげで、資料を読み取り、必要な情報は情報カードに記入して、それらを活用してレポートを仕上げる、という流れには慣れてきている。

英語を書くことについての指導は、日本文化を紹介する文や修学旅行記、ある意見に対して自分は賛成・反対どちらの立場なのかをまとめて書く活動などに取り組んできた。生徒の英語力にかなりの差があり、自分で辞書を片手にどんどん文を書き進められる生徒もいれば、周りの友だちに聞きながら語句を入

れ替えて何とか自分の言いたいことを英語に直す生徒もいる。ペア活動やグループ活動を行うことで、英語が苦手な生徒もあきらめずに話したり書いたりする活動に取り組むことができおり、そのような活動を取り入れることが有効であると考える。

(3) 指導観

本単元では、単元の目標として **Unit6** までに学んだ表現を使ってまとまりのある文章を書いて発信する、という言語活動が設定されている。教科書のモデル文は中学校生活の思い出や抱負について書かれており、生徒たちも実際に同じテーマでの作文をしてきた。今回の弥栄を取り上げた作文では、まとまりのある文章を適切に書いていくための指導として、まず生徒たちにとって身近な場所を英語で紹介するパンフレットを提示して、それがどこなのかを考えさせる。そしてパンフレットに盛り込まれた情報や、写真、イラストに注目させる。また、パンフレットが作成される目的からどのような表現が多用されているか、パンフレット独特の表現に気づかせたい。最終的には2年生で自分が書いた「弥栄の町紹介」の文を土台にして、3年生なりの表現で魅力的な弥栄を紹介する文を作ることを目標にしたいと考える。もともになる文があることで、活動へのとりかかりがスムーズにできるのではないだろうか。また、それぞれの過程においては、ペア活動やグループ活動を取り入れ、英語が苦手な生徒も自分たちのふるさと弥栄の魅力を伝える文が書けるよう温かい雰囲気の中で活動が進められるよう支援したいと考える。

4. 本実践とキャリア教育

本実践では、英語のパンフレットを用いて魅力的な紹介文の例を知り、学習してきた英語表現を適切に使って自分の作文をよりよいものにしていく。ふるさと弥栄のすばらしさや魅力を英語で伝えられるよう、情報を主体的に選択し活用する力や見通しをもって課題に取り組む力をつけさせたい。

【見通しをもって計画・実行する力(課題対応能力)】

5. 「Can-do リスト」の形での学習到達目標との関連 (第3学年)

話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べあったり、問答をしたりすることができる。 ・自分の選んだテーマなどについて、まとまった内容でスピーチをすることができる。 	さまざまなテーマについて、情報や自分の考えなどが読み手に正しく伝わるよう、文章の構成を意識して5文以上で書くことができる。	さまざまな場面で話されるまとまった英語をきいて、概要や要点を正確に聞き取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や伝記、記事、説明文などを読み、場面や登場人物の心情を整理しながら正確に読み取ることができる。 ・身近な地域や観光地のパンフレットを見て、その内容や大切な情報を正確に読み取ることができる。

6. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
学習した表現を使って自分の作文がより良いものになるよう、積極的に文章を書いている。	ふるさと弥栄のすばらしさや良さについて、5文以上のまとまりのある文で表現している。		弥栄のすばらしさについて説明する際に必要な表現を理解している。

7. 単元の指導計画及び評価計画

時	○ねらい・主な学習活動	評価					
		関	表	理	言	主な評価規準（評価方法）	
						形成的評価	総括的評価
1	○石見地方の英語版のパンフレットを読んでその内容を理解する。 ・内容を読み取る。			○		・パンフレットの内容を読み取ることができる。 (理・ワークシート)	
2 本時	○身近な場所の英語版のパンフレットを読んでその内容を理解する。 ・どこを紹介する文か推測する。 ○パンフレットで使われている表現に注目する。 ・パンフレットにどんな工夫があるか考える。 ・既習表現が使われていることや読み手をひきつける表現に気づく。 ○2年生の時に書いた弥栄の町紹介の文を見直す。 ・他にどのような情報を盛り込むことができるか考える。	○		○		・パンフレットの内容を読み取ることができる。 (理・ワークシート) ・昨年、弥栄町について書いた文をもとに、弥栄の魅力がより伝わる紹介文にしようとしている。 (関・活動の観察)	
3	○2年生の時に書いた弥栄の町紹介の文を練り直す。 ・文全体がまとまりのある内容になるように仕上げる。 ○弥栄町のよさについて発表する。 ・作成した原稿をもとに発表する。 ・発表の内容に関する質問に答える。	○	○			・弥栄町の魅力が伝わる紹介文を書くことができる。 (表・ワークシート) ・弥栄町のよさについて積極的に発表し質問に答えようとしている。 (関・活動の観察)	

※後日書くことに関するパフォーマンステスト（情報をもとに町を紹介する文を書くテスト）をする。

8. 本時の学習

(1) ねらい

○身近な場所の英語版のパンフレットに使われている表現を参考にして、昨年自分が書いた弥栄の町紹介がより具体的に魅力を伝えられる文になるように見直す。

(2) 展開

時 (分)	学習活動	教師の支援○ 評価☆
10	1 ウォームアップ ・Q&A をする。ペア➡クリス・クロス	○英語でのやりとりを通して、英語学習に向かう雰囲気を作る。
1	2 本時の目標と活動の流れを確認する 目標：身近な場所のパンフレットから弥栄の紹介に生かせる表現やアイデアを取り出して活用しよう。	
15	3 教師が示す2種類のパンフレットを読む。 ・1つ目がどこの紹介か推測し、表現や内容に注目する。 ・パンフレットが作られる目的を考える。 ・2つ目の英語版パンフレットを見て、パンフレット独特の表現がどのくらい使われているかペアまたはグループでチェックする。 ・表現をピックアップする。	○生徒に活動の見通しを持たせる。 ○2つのモデルを示し、生徒の気づきを促す。 ○生徒の気づきを大切に、評価する。
22	4 2年生の時に書いた町紹介の文を読む。 ①ピックアップした表現が使われていたかマークでチェックしてみる。 ②どんな情報や文を盛り込めば弥栄に行きたいと思えるだろうか。アイデアを付箋に書いて貼る。	○とまどっているペアやグループには、どのような内容が付け加えられるか例を挙げて活動が進むよう促す。 ※日本語OK➡できれば英語にする。
	☆パンフレットから取り出した表現を参考にして、町紹介の文が弥栄の魅力伝えるまとまりのある文になるように見直している。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)	
2	5 本時の学習を振り返り、次時の学習への見通しを持つ。	○活動全体をとおし、良かったところを具体的に挙げさせたり指摘したりして、次時への意欲付けをする。

(3) 本時の評価

観点	おおむね満足と判断される生徒の具体例	努力を必要とする生徒への指導の手立て
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	パンフレットを参考にして取り出した表現を使って弥栄の魅力が伝わる紹介文になるよう互いにアイデアを出し合い、付箋を使って文を加えようとしている。	教え合いの場を設けたり、個別支援をしたりし、紹介文の内容がふくらむよう支援する。

●授業研究の視点

- ・身近な地域や観光地のさまざまな英語版パンフレットを紹介し、内容や表現について取り上げて考えたことは、生徒の意欲的な取組につながったか。
- ・ペアやグループ活動のあり方は、生徒の学び合いに効果的であったか。